

ネットワークセキュリティ研究所 展示・講演ご案内

2015年10月22日(木) 9:30～17:00

10月23日(金) 9:30～16:30

情報通信研究機構(NICT) 小金井 5号館4階

展示(ポスターを用いた研究内容の紹介)

- サイバー攻撃対策技術
NICTER / DAEDALUS / NIRVANA
(インシデント分析センター/対サイバー攻撃アラートシステム/ネットワークリアルタイム可視化システム)
- 知識ベースを用いたIT資産と脆弱性情報の自動監視技術に関する検討
- 暗号プロトコルの脆弱性の効率的発見に向けた試み
～安全性評価の自動化と評価結果の可視化～
- ビッグデータ利活用におけるプライバシー保護技術
～暗号化データに対する秘匿計算・軽量匿名署名技術～
 - ◆ プライバシーを考慮した暗号化データに対する秘匿計算
 - ◆ 軽量グループ署名と路車間通信におけるプライバシー保護

講演(ネットワークセキュリティ研究所における活動の紹介)

講演時間	プログラム(各回共通)
1回目 9:50～10:20 2回目 15:30～16:00	① サイバー攻撃対策技術 (2日目の2回目の講演は 下記の全体講演をご聴講ください。)
1回目 10:50～11:20 2回目 13:10～13:40	② 知識ベースを用いたIT資産と脆弱性情報の自動監視技術に関する検討 ③ 暗号プロトコルの脆弱性の効率的発見に向けた試み
1回目 11:50～12:20 2回目 14:40～15:10	④ ビッグデータ利活用におけるプライバシー保護技術

各講演に続けて、同じ会場にてポスター展示(30分)を行っております。(*23日は16:30まで)
最新の講演時間と概要については、ホームページ(<http://www.nict.go.jp/>)をご覧ください。

期間中、ネットワークセキュリティ関連として、以下の講演会が開催されます。

10月23日(金) 15:30～16:10 会場:4号館2階 大会議室
インシデント分析センター "NICTER"

サイバーセキュリティ研究室 衛藤 将史

ネットワークセキュリティ研究所 展示概要

■ サイバー攻撃対策技術

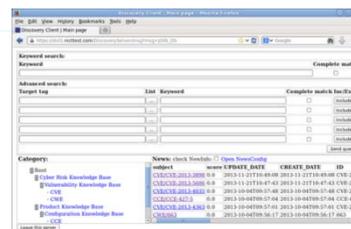
NICTER/DAEDALUS/NIRLVANA

ネットワーク上で発生するサイバー攻撃を実時間で高精度に分析するNICTER及びそのスピナウト技術であるNIRLVANAとDAEDALUS及びNIRLVANA改を紹介しします。



■ 知識ベースを用いたIT資産と脆弱性情報の自動監視技術に関する検討

サイバーセキュリティを担保するためには、各組織は自組織内に存在するIT資産を監視し、各種脆弱性情報を監視する必要があります。この監視業務は、脆弱性の存在に気付かず放置することが、大きなインシデントにもつながるケースがあるため、非常に重要です。そこで我々は、イントラネット上に存在するIT資産を特定し、それらの抱える脆弱性に関する情報を我々のセキュリティ知識ベースに問い合わせることにより、必要に応じて管理者に脆弱性情報をリアルタイムで通知するシステムについて紹介しします。



■ 暗号プロトコルの脆弱性の効率的発見に向けた試み

～安全性評価の自動化と評価結果の可視化～

情報通信の安全性を支える基幹技術として、SSL/TLSなどの暗号プロトコルが挙げられます。近年、広く普及した暗号プロトコルに深刻な脆弱性が次々と発見されているため、現在普及している、あるいは将来開発される暗号プロトコルの脆弱性を効率的に発見する技術の開発が喫緊の課題となっています。

我々は、脆弱性発見を効率化するために我々が開発した、人手による脆弱性発見を補助する可視化技術と、脆弱性発見を自動化する技術を紹介しします。

■ ビッグデータ利活用におけるプライバシー保護技術

～暗号化データに対する秘匿計算・軽量匿名署名技術～

近年、ビッグデータの利活用が求められる一方で、プライバシーに対する懸念が高まっています。

本展示では、以下について紹介しします。

- ①医療情報などのデータを暗号化したまま安全にデータ解析を行える暗号技術
- ②ネットワーク上の認証において、匿名のまま情報の正当性を検証できる技術とそのITSへの応用

